

鳥取市民アンケート調査の結果概要について

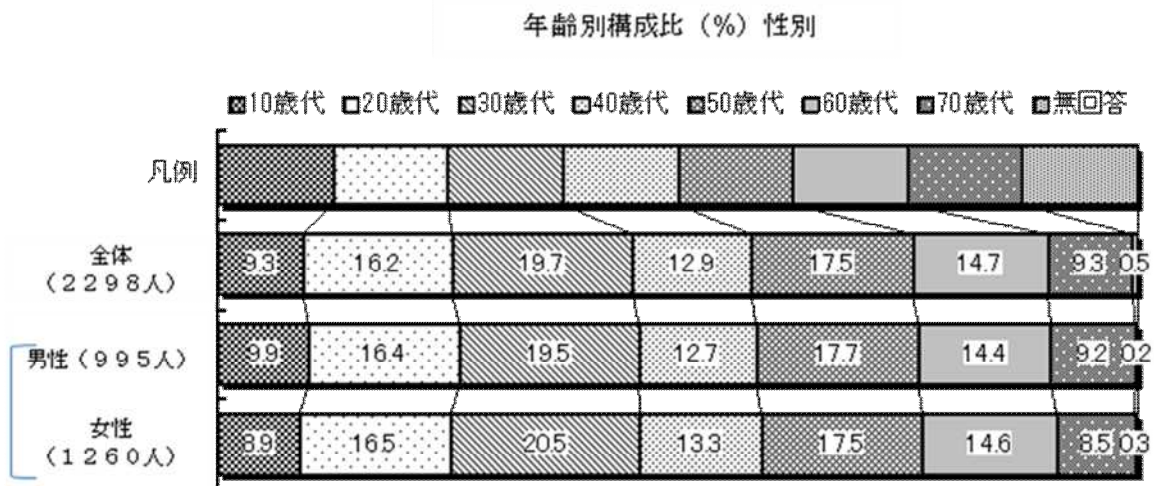
1 調査のあらまし

15歳以上80歳未満の鳥取市民を無作為に4,000名抽出し、アンケートを9月28日に郵送により配布し、10月30日を締め切りとして実施しました。

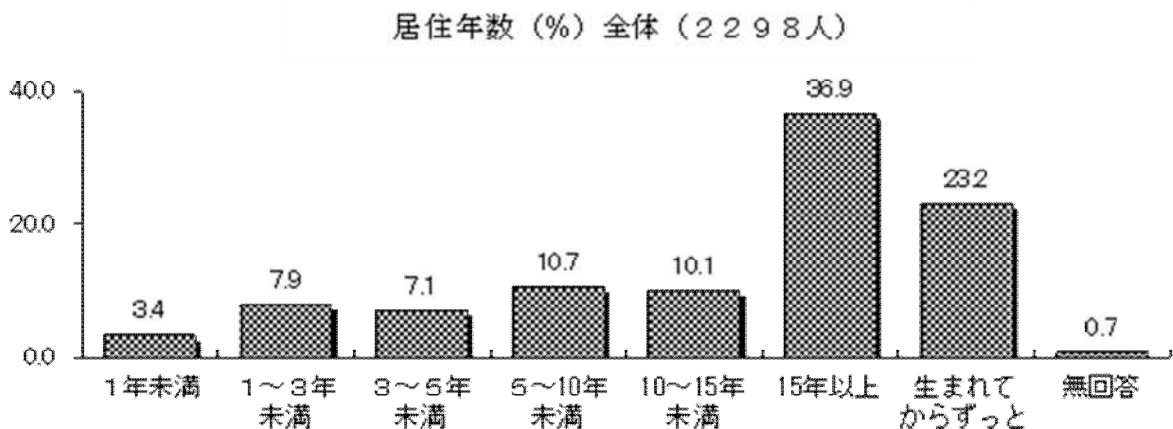
その結果、2,298人(57.5パーセント)から回答をいただきました。

性別による回答者を区分すると、男性が43.3%、女性は54.8%(無回答1.9%)でした。

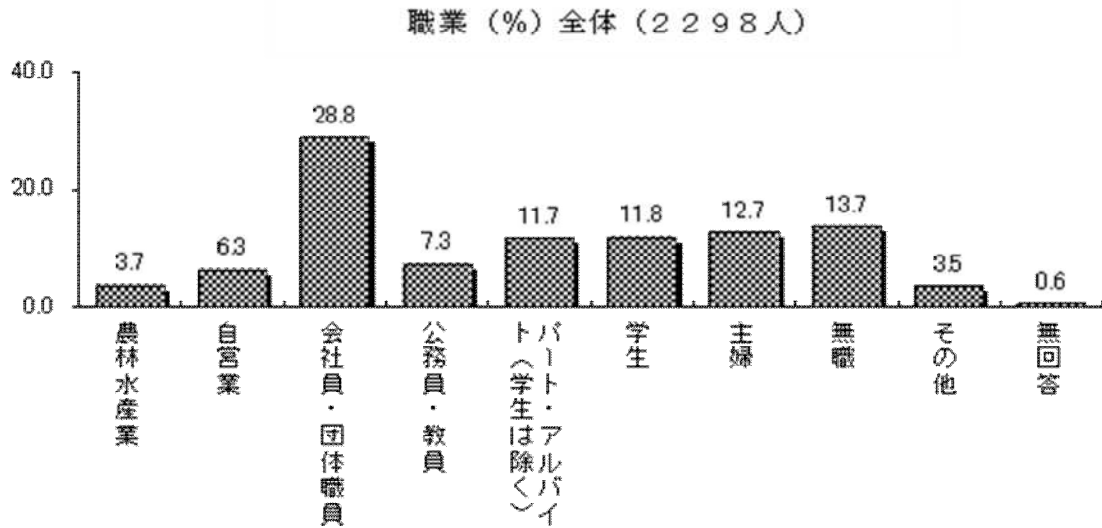
(1) 年齢構成



(2) 居住年数



(3) 職業

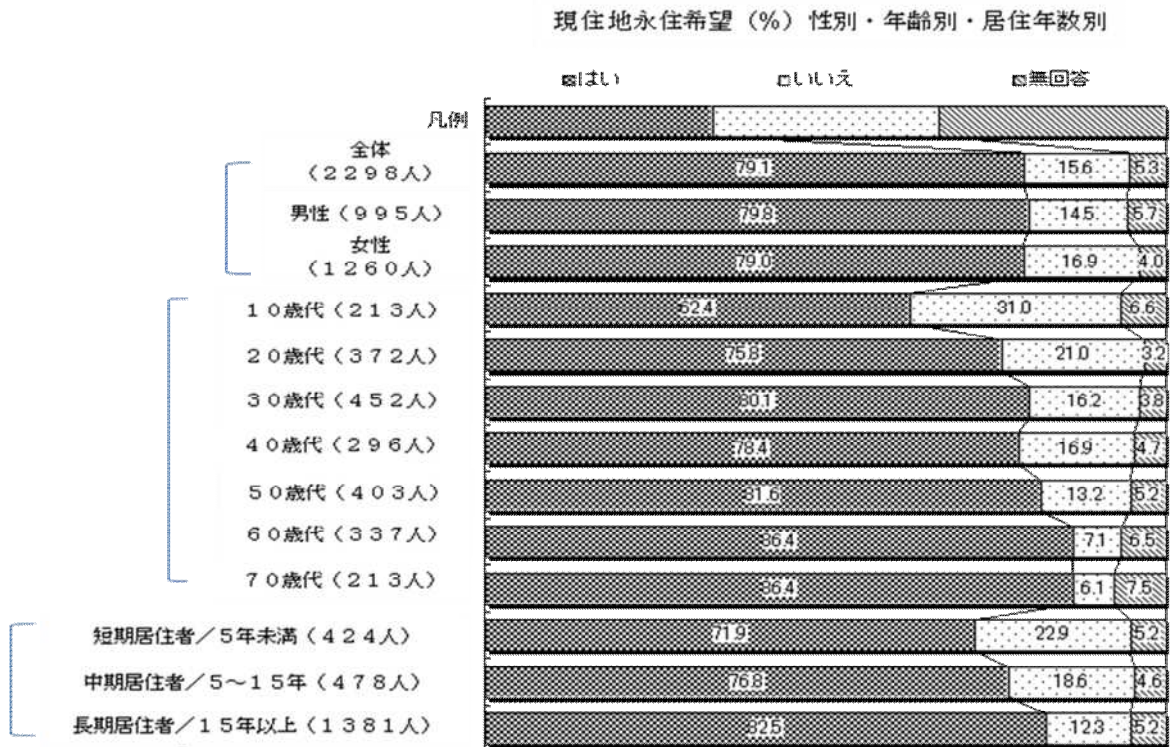


2 アンケート結果の主な内容

(1) 現住地での永住希望

現住地永住希望をみると、「はい(住み続けたい)」が約8割(79.1%)と多くの方が、これからも現在お住まいの地での生活を望んでいます。

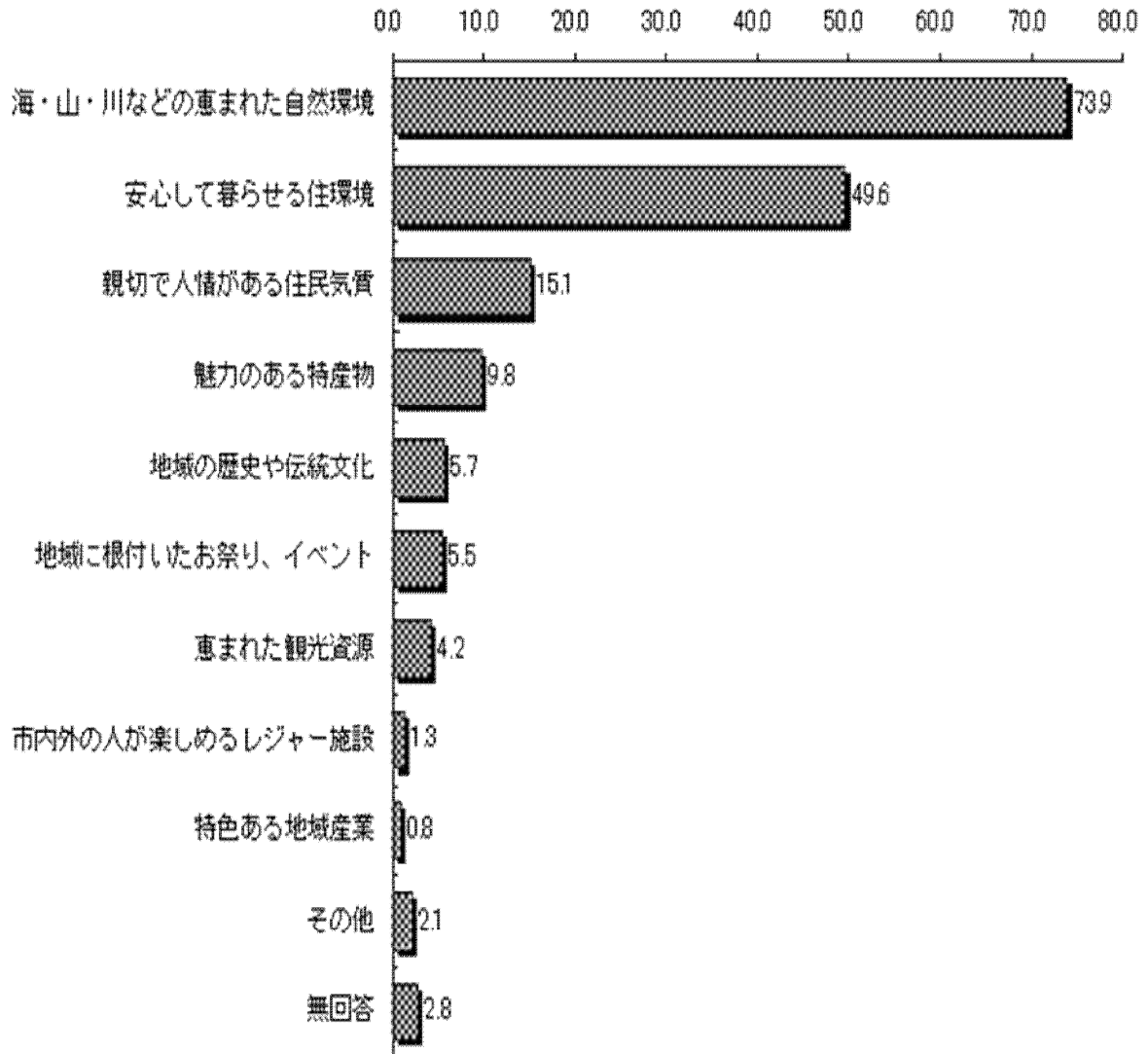
また、年齢別では、年齢が上がるにつれ「はい」が多くなり、また居住期間が長くなるにつれ「はい」が多くなる傾向がみられます。



(2) 鳥取市について誇りに思うこと

「鳥取市について誇りに思うこと」をお尋ねしたところ、「恵まれた自然環境」と「安心して暮らせる住環境」の項目に回答が集中しています。

鳥取市について誇りに思うこと (%) 全体 (2298人)

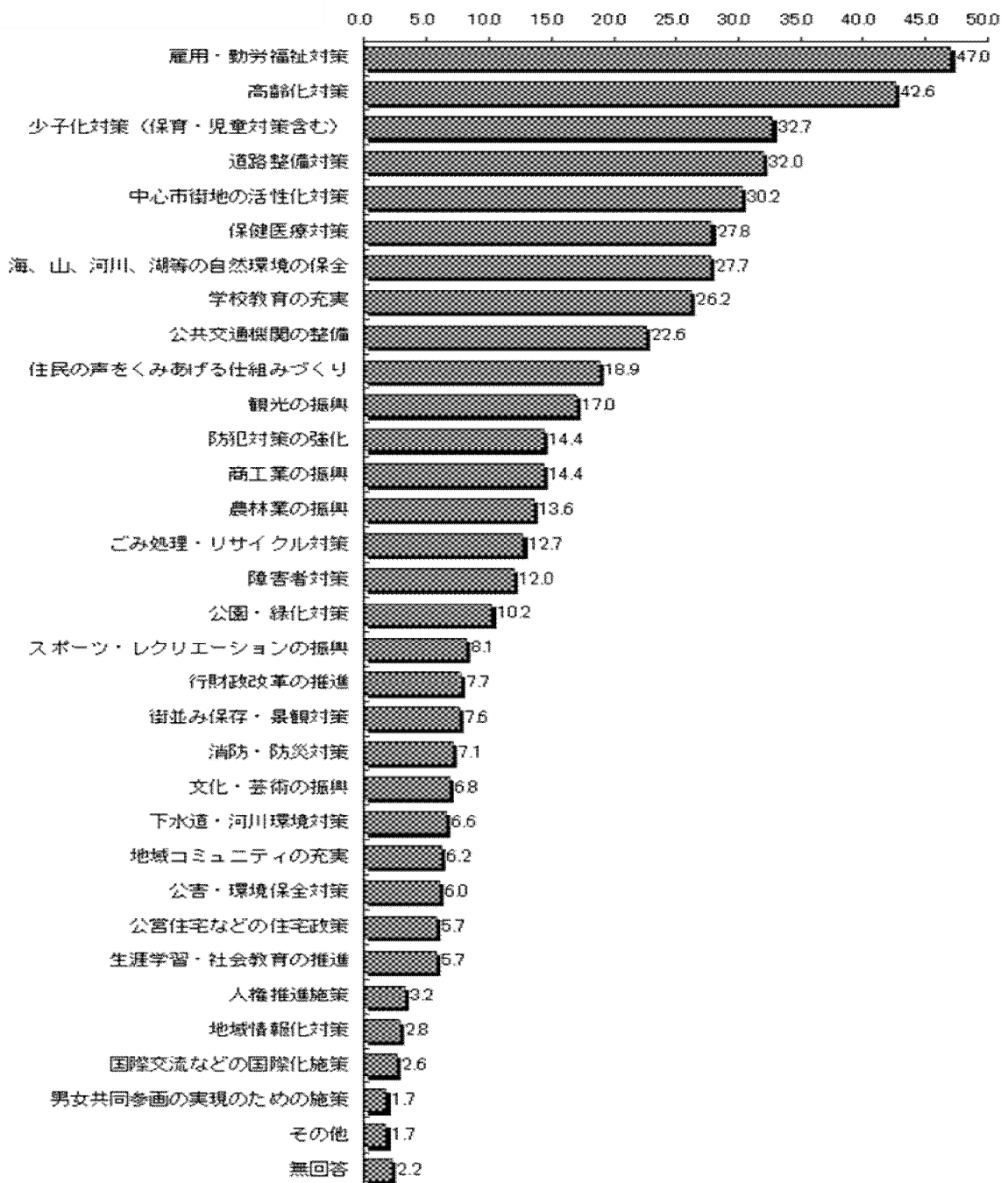


(3) 優先すべき施策

鳥取市を住みよいまちにするために、今後どのような施策を優先して進めるべきかを5項目選んでいただきました。

「雇用」や「少子高齢化」、「道路整備」、「中心市街地活性化」など、市が現在取り組んでいる施策をさらに強化する必要があります。

優先すべき施策(%) 全体(2298人)



(4) 鳥取市が目指すべき将来の都市像

鳥取市がどのような都市を目指すべきと思われるかを10項目提示し、その中で順位を付けて3項目を選んでいただきました。

順位をつけていただいた合計で一番多いものは「福祉の充実した人にやさしいまち」で、次いで「自然や環境にやさしい安らぎのある環境先進都市」、「生活基盤の整った定住促進都市」となっています。

「第1位」への回答は、「自然や環境にやさしい安らぎのある環境先進都市」が最も多く、「生活基盤の整った定住促進都市」、「福祉の充実した人にやさしいまち」の順となっています。

鳥取市が目指すべき将来の都市像 (%) 全体 (2298人)

